

# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0241  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1121 環境部環境政策課  
 事務事業番号 01058 環境保全市民運動推進事業

所属長名 高木 裕司  
 記入者 山形 基之

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします		
施策	015	自然環境の保全		
取組の方向性	001	琵琶湖を始めとする水環境の保全・再生		
事務事業	001	環境保全市民運動推進事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	大津市環境基本条例			
事業概要	(事業概要) 市民や事業者が自らの手で琵琶湖の美しさを保持するとともに快適な水辺環境の保全と創造が実現できるように市民運動の育成・支援を行う。「琵琶湖を美しくする運動実践本部」による琵琶湖市民清掃の実施を支援し、回収されたごみの処理を行うとともに、補助金を交付し事務局を担当している。河川愛護団体に対する河川清掃用具の配布や情報提供等の他、河川愛護団体連合会の活動支援を行う。地域のヨシ保全事業を補助金交付や活動等で支援する。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 琵琶湖の保全をはじめ、地域の美化、環境保全につながる市民活動を支援することによる、市民・事業者・行政との協働の取り組みが求められている。 (見直しや改善等の経過) 「大津市補助制度適正化基本方針」に基づき、補助率を見直すなど改善してきた。また、河川愛護事業に係る実施要領の整備や各事業における会議の書面審議化等を行い効率化を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により参加者は減少しているが、感染症対策を徹底の上、事業は概ね実施出来ている。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民や事業者などを対象として
目的(何のために)	琵琶湖の美しさを保持し、琵琶湖岸、河川、公園、道路などの美化や清掃を行うため
手段(どのようなやり方で)	琵琶湖市民清掃の実施を支援し、広報等を通じて「琵琶湖を美しくする運動」の啓発活動を行い、河川愛護団体結成を促し定期的な河川清掃や川辺の花づくり等の河川愛護活動及びヨシ保全活動を促進し支援することで
成果(どのような状態にするのか)	多くの市民、事業者の参加を得て琵琶湖岸、河川、公園、道路等の公共的な場所の美化が図られるとともに、河川を軸とした新たな流域コミュニティ（川すじコミュニティ）が形成される

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,819	27,747	32,868	33,781	33,791	32,760	32,760
事業費	7,814	13,187	16,963	17,845	17,855	16,824	16,824
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	5,641	8,670	6,197	6,197	6,197	6,197	6,197
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	116	102	700	200	200	200	200
一般財源	2,057	4,415	10,066	11,448	11,458	10,427	10,427
人件費計	11,005	14,560	15,905	15,936	15,936	15,936	15,936
事務・技術(人)	1.14	1.82	1.93	1.93	1.93	1.93	1.93
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.54	0.00	0.15	0.16	0.16	0.16	0.16
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0





# 事務事業評価シート（1/2）

724 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0242  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1121  
 事務事業番号 01150  
 進捗区分 評価完了  
 環境部環境政策課  
 環境企画推進事業  
 所属長名 高木 裕司  
 記入者 谷仲 昇

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	031	地球温暖化対策の推進				
取組の方向性	002	再生可能エネルギー等の利活用の推進				
事務事業	001	環境企画推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、大津市環境基本条例				
事業概要	(事業概要) 「大津市環境基本計画」及び「大津市地球環境保全地域行動計画～アジェンダ21おおつ～」に基づき、市民の省エネルギー推進のための各種事業や再生可能エネルギー普及の啓発等を実施する。また、市役所の事業活動に伴う環境負荷を低減するため、本市独自の環境マネジメントシステム（環境オームス）により取組を進める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国内の脱炭素社会への移行に向けた機運が高まる中で、国だけでなく地方自治体にも、省エネや地域の再エネを活用した施策等の加速化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 大津市地球温暖化防止活動推進センターに指定しているNPO法人おおつ環境フォーラムに委託して実施することにより温暖化対策に関して効率的・効果的な普及啓発に努めるとともに、令和3年度においては大津市環境基本計画（第3次）の策定に注力した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に
目的(何のために)	「環境基本計画」及び「アジェンダ21おおつ」に示される取組を推進するため
手段(どのようなやり方で)	ホームページや広報紙等による省エネルギー及び再生可能エネルギーの啓発、市民等の省エネルギーへの取組の支援を行い
成果(どのような状態にするのか)	市民等の地球環境保全に対する理解を深め、計画に掲げる各種取組を着実に推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	28,920	33,279	49,530	41,110	37,238	37,238	40,738
事業費	13,258	16,719	26,105	17,014	13,142	13,142	16,642
国庫支出金	5,212	0	11,250	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	247	1,411	2,193	2,193	2,193	2,193	2,193
一般財源	7,799	15,308	12,662	14,821	10,949	10,949	14,449
人件費計	15,662	16,560	23,425	24,096	24,096	24,096	24,096
事務・技術(人)	1.91	2.07	2.87	2.95	2.95	2.95	2.95
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.15	0.16	0.16	0.16	0.16
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0242  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1121 環境部環境政策課  
 事務事業番号 01150 環境企画推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-60-00-05-00	環境企画推進事業費	環境部環境政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)省エネルギー等啓発回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		19.00	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)温室効果ガス削減量（2013年度比）	%	0.00	0.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)エコライフデーの参加世帯数（累計）	世帯	20,000.00	20,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		12,242.00	14,003.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)住宅用太陽光発電システム総能力	kW	69,000.00	84,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		41,125.00	44,080.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点				基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である				A			
	B		ほぼ妥当である								
C	あまり妥当ではない										
D	妥当ではない										
	評価理由	法により地方公共団体の責務とされているため									
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている				B			
	B		やや上がっている								
C	あまり上がっていない										
D	上がっていない										
	評価理由	一部指標未達成であるが、成果が徐々に表れているため									
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である				A			
	B		やや効率的である								
C	あまり効率的でない										
D	効率的でない										
	評価理由	事業の大半を委託により遂行し、効果も上がっているため									
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している				A			
	B		やや貢献している								
C	あまり貢献していない										
D	貢献していない										
	評価理由	継続的な普及啓発等により市民等の行動変容に寄与しているため									
	評価理由										

【所属評価結果】		総合評価		事業の方向性		拡大	
所属コメント (400文字)		計画どおり事業を進めることが適当		事業の方向性		拡大	
		2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国、県の動向を注視しながら「大津市環境基本計画（第3次）」に基づき、省エネルギーや再生可能エネルギー等を活用した新たな施策を進めていく。また、引き続き「大津市地球温暖化防止活動推進センター」と連携し、改善を図りながら、市民、事業者への普及啓発の取組を強化していく。					

【部局評価結果】		総合評価		事業の方向性		拡大	
部局コメント (400文字)		計画どおり事業を進めることが適当		事業の方向性		拡大	
		「大津市環境基本計画（第3次）」に基づき、「2050年カーボンニュートラル」の実現のための市の取組を推進していく。また、市の事務事業の実施に当たっては、省エネルギーの推進等を全庁共有の課題として継続的に取り組まれるよう働きかけるとともに、事務の円滑な遂行に努めていく。					



# 事務事業評価シート（1/2）

727 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0243  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1121  
 事務事業番号 01190  
 進捗区分 評価完了  
 環境部環境政策課  
 環境人育成事業  
 所属長名 高木 裕司  
 記入者 山形 基之

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	002	環境人育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	環境基本法、環境教育等促進法				
事業概要	(事業概要) 環境問題に関心を持ち豊かで快適な環境を創造していく人を育成するために、子どもの自然体験学習を充実させる。子どもと親・家族が豊かな本市の自然に学び、自然を楽しむ体験型環境教育を展開し環境にやさしく生きる力を持った「環境人」を育むことを目的として次の事業を実施する。 ・「自然環境保全」事業 ・「大津こども環境探偵団」事業 ・「指導者研修」事業				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 自然体験活動を望む声が多くなっており、本市の豊かな自然を生かした自然体験型環境学習により環境人を育むための機会の提供が求められている。 (見直しや改善等の経過) 「大津環境人を育む行動計画」の策定（平成29年度）を契機に、参加者の数によって実施回数を調整するなど事業内容の見直しを行った。令和4年度より環境学習活動実行委員会を解散し、新たに大津市環境人育成推進懇話会を設置した。				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	「自然環境保全」事業は子育て親子、こども環境探偵団事業は小学3年生～中学3年生、指導者研修事業は環境学習に携わる方を対象に
目的(何のために)	人間の社会活動と環境の関わりにおいて、市民一人ひとりが深い理解と認識を持ち、各自が環境に配慮した生活・行動ができる「環境人」の育成を目的として
手段(どのようなやり方で)	里、川、琵琶湖、山等のフィールドを利用した自然体験プログラムの実施（「自然環境保全」事業）、環境学習活動（大津こども環境探偵団事業）、及び研修支援（指導者研修事業）により
成果(どのような状態にするのか)	「環境人」が増えた状態をつくる ※環境人とは、高い環境意識を有して積極的に環境行動を実践する人

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	11,926	10,777	12,739	12,823	10,423	12,823	12,823
事業費	519	777	1,074	1,127	1,127	1,127	1,127
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	500	777	0	500	700	700	700
一般財源	19	0	1,074	627	427	427	427
人件費計	11,407	10,000	11,665	11,696	9,296	11,696	11,696
事務・技術(人)	1.35	1.25	1.40	1.40	1.10	1.40	1.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.11	0.00	0.15	0.16	0.16	0.16	0.16
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0243  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1121 環境部環境政策課  
 事務事業番号 01190 環境人育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-02-00	環境人育成事業費	環境部環境政策課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 自然家族事業 開催回数	回	4.00	4.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		7.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 大津こども環 境探偵団環境学習回数	回数	6.00	6.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 自然家族事業 参加者数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		222.00	148.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 大津こども環 境探偵団卒団生数	人	2,050.00	2,110.00	2,082.00	2,122.00	2,162.00	2,202.00	2,242.00
		2,003.00	2,042.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点				基準				評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A	妥当である				環境教育等促進法に基づき当該事業を実施することは妥当である				A	
			B	ほぼ妥当である									
C	あまり妥当ではない												
D	妥当ではない												
評価理由													
2	有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A	上がっている				今後も自然体験活動を続けていきたいというアンケート結果が多い				B	
			B	やや上がっている									
C	あまり上がっていない												
D	上がっていない												
評価理由													
3	効率性	事業手法は効率的であ るか	A	効率的である				テーマを絞った内容とすることで効率的に事業実施出来ている				A	
			B	やや効率的である									
C	あまり効率的でない												
D	効率的でない												
評価理由													
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A	貢献している				各事業の参加者が環境を意識した活動に関心を持つようになった				A	
			B	やや貢献している									
C	あまり貢献していない												
D	貢献していない												
評価理由													
評価理由													

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	環境学習実行委員会を解散し、新たに大津市環境人育成推進懇話会を設置し、学識経験者等からの意見を取り入れ事業の実施方法について更なる発展を遂げていけるよう整備した。新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業の参加者数が減少しているが、今後については、大津市環境人育成推進懇話会の意見などを基に事業のフィードバックを積極的に行い、感染症対策を徹底した上、参加者のニーズを的確に把握して事業を進めて行く。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努める観点から、事業活動の機会の確保を図りつつ、参加者数を制限してきた。引き続き、大津市環境人育成推進懇話会での意見などを踏まえ、リピーターはもとより、新規参加者が増加し、本市ならではの環境人育成の裾野が広がるよう、一層の啓発に努めていく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

730 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0244  
評価年度 令和 3年度  
所属 1121  
事務事業番号 03335

進捗区分 評価完了  
環境部環境政策課  
公害監視調査事業

所属長名 高木 裕司  
記入者 笛吹 孝宏

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015	自然環境の保全				
取組の方向性	003	生活環境の保全・監視				
事務事業	001	公害監視調査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	水質汚濁防止法・大気汚染防止法・悪臭防止法・騒音規制法 他				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>公害関係法令等に基づき、水質汚濁、大気汚染、騒音振動などの公害の発生源となる事業場に対し規制・指導を行う。また、生活環境の保全及び増進を図るため、河川水質や大気環境などの監視・調査を行う。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>市内を流れる河川や地下水が琵琶湖に流入するため市民の水環境への関心は非常に高い。また、法改正に伴い令和3年4月から石綿の規制強化が図られたことから、今後は大気環境への関心が高まることが想定される。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>公害関係法令に基づいた指導が難しい事業場については、他部局と連携を図りながら改善に向け指導を行った。また、石綿の規制強化についてホームページやチラシによる啓発を図るとともに、解体等を行う事業者への指導を強化した。</p>				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	工場・事業場、道路・鉄道などの発生源や公共用水域、大気環境などに対し
目的(何のために)	水環境、大気環境など快適な生活環境を保全するため
手段(どのようなやり方で)	公害関係法令等に基づく立入検査、指導などを行うとともに、水質や汚染の状況の監視・調査を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	水質汚濁の防止、大気汚染の防止などが図られ、快適な生活環境が保全される

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	84,531	76,536	75,411	78,382	79,298	80,840	81,012
事業費	46,401	47,176	48,211	51,182	52,898	53,640	53,812
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	8,899	8,413	8,176	8,125	8,575	10,975	8,245
一般財源	37,502	38,763	40,035	43,057	44,323	42,665	45,567
人件費計	38,130	29,360	27,200	27,200	26,400	27,200	27,200
事務・技術(人)	4.65	3.67	3.40	3.40	3.30	3.40	3.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0244  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1121 環境部環境政策課  
 事務事業番号 03335 公害監視調査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-36-00-01-00	公害監視調査事業費	環境部環境政策課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)事業場排水検査数	件	62.00	48.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		57.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)事業場立入件数(大気、悪臭)	件	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		15.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)河川における環境(上の)基準の達成状況(BOD)	河川数	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		24.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大気常時監視における環境基準の適合率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		68.00	82.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	公害関係法令等に基づいた事業場に対する規制・指導並びに環境の監視・調査を実施することで、引き続き良好な生活環境の保全に努めていく。事業場排水検査については、令和3年度に方針を見直し、生活環境への影響が大きい排水事業者を対象として重点的に実施することとしたことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を大きく下回ったが、河川の状況の悪化等が認められないことから、令和4年度以後においても引き続き生活環境への影響が大きい排水事業者を対象とした検査を重点的に実施していく。また、石綿の規制強化に係る啓発及び指導を適切に実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活環境の保全と、市民の安心・安全を確保するためには欠かせない事業であり、今後も他部局との連携を図りながら効率性を高め、適正な事業の執行に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

733 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0245  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1703  
 事務事業番号 01023

進捗区分 評価完了  
 環境部廃棄物減量推進課  
 し尿処理事業推進事業

所属長名 小高 弥須夫  
 記入者 福嶋 真

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	004	し尿処理事業推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。 また、16箇所の公衆便所を市民等が清潔で快適に利用できるよう維持管理に努めている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) し尿・浄化槽汚泥は、下水道の普及に伴い収集量が減少を続けていたが、し尿については新型コロナウイルスによる新生活様式が定着してきたことに加え、大型公共工事における仮設トイレの影響により増加している。 (見直しや改善等の経過) 本市のし尿収集運搬事業は、一部地域を除いて許可制で事業継続してきたが、本市のし尿収集運搬事業を安定的に継続するため、この度の施設再編に合わせ全面委託化した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して、適正処理を図ることにより
成果(どのような状態にするのか)	快適な市民生活を送れるようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	60,007	86,994	160,450	159,029	159,029	159,029	159,030
事業費	43,098	70,424	143,880	142,459	142,459	142,459	142,460
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	23,159	34,589	70,145	68,086	68,211	68,016	68,036
一般財源	19,939	35,835	73,735	74,373	74,248	74,443	74,424
人件費計	16,909	16,570	16,570	16,570	16,570	16,570	16,570
事務・技術(人)	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0245  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課  
 事務事業番号 01023 し尿処理事業推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-21-00-10-00	し尿処理事業推進費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)し尿汲み取り・浄化槽人口	人	11,352.00	10,953.00	10,738.00	10,366.00	10,007.00	9,660.00	9,325.00
		11,414.00	11,019.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)公衆便所年間清掃回数	年間回数	8,551.00	8,550.00	8,551.00	8,577.00	8,577.00	8,577.00	8,577.00
		8,551.00	8,550.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)し尿・浄化槽汚泥処理量	k l / 日	30.55	29.66	30.71	30.53	30.35	30.17	29.99
		34.80	34.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)公衆便所利用回数	回 / 日	4,678.00	3,842.00	3,842.00	3,876.00	3,910.00	3,944.00	3,978.00
		3,842.00	3,876.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
	評価理由	一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理は市の責務であることから	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
	評価理由	し尿・浄化槽汚泥の適正処理に努め、生活環境の保全を確保している	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
	評価理由	専門的な業者が対応することにより、業務が効率的に実施されている	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
	評価理由	一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理は市の責務であり、適正処	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年1月からし尿処理施設の再編に合わせ、し尿収集運搬事業は全面委託化を実施した。今後も本市のし尿収集運搬事業を安定的に継続するために計画通り事業を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	し尿処理施設の再編（適正化）に伴い、令和4年1月より、し尿収集運搬事業の主体を市とした上で、民間委託化を行い、し尿処理（収集運搬及び処分）事業の最適化を図った。本事業の主要な業務である収集運搬費用は増加しているが、衛生処理場管理運営事業においては、施設運転経費の抑制が進むこととなる。今後も効率化並びに浄化槽の普及など他の取組みとも連携させながら生活環境の保全に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0246  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1703  
 事務事業番号 01052

進捗区分 評価完了  
 環境部廃棄物減量推進課  
 し尿処理施設等整備事業

所属長名 小高 弥須夫  
 記入者 福嶋 真

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	006	し尿処理施設等整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	滋賀県生活排水対策の推進に関する条例他					

事業概要	(事業概要) 下水道計画区域外の地域（葛川学区等）及び下水道の整備が当分の間（7年以上）見込まれない下水道事業等計画区域内の地域（以下、浄化槽補助対象地域とする。）における浄化槽の設置促進を図るため、設置費補助金の交付及び維持管理補助金の交付により浄化槽の適正管理に努め、浄化槽の維持管理の啓発活動を通して、公共用水域の水質汚濁防止へとつなげている。					
------	--	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 下水道の整備は進んでいるが、下水道の区域外はもとより、計画区域内においても整備困難地域は残ることから、今後も浄化槽の整備は必要である。 (見直しや改善等の経過) 平成11年度から葛川地区における浄化槽の面的整備事業の実施や、平成15年度からの浄化槽維持管理事業を実施するなど、浄化槽の普及促進・維持管理に努めてきた。					
----------------------	---	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民（浄化槽管理者）に対して					
目的(何のために)	公共用水域の水質汚濁防止を図るため					
手段(どのようなやり方で)	浄化槽の設置及び維持管理に係る補助金の交付や啓発・指導を行うことにより					
成果(どのような状態にするのか)	浄化槽の普及及び適正な維持管理の促進を図る。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,309	16,945	18,123	18,537	18,537	18,537	18,537
事業費	5,277	5,187	6,365	6,779	6,779	6,779	6,779
国庫支出金	884	972	1,188	1,326	1,326	1,326	1,326
県支出金	1,946	1,593	1,948	2,086	2,086	2,086	2,086
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,447	2,622	3,229	3,367	3,367	3,367	3,367
人件費計	12,032	11,758	11,758	11,758	11,758	11,758	11,758
事務・技術(人)	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0246  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課  
 事務事業番号 01052 し尿処理施設等整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-21-00-04-00	し尿処理施設等整備事業費	環境部廃棄物減量推進課

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 設置費補助件数	件	14.00	10.00	10.00	11.00	11.00	11.00	11.00	
		7.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 汲取り・単独処理浄化槽人口	人	7,870.00	7,570.00	7,373.00	7,272.00	6,986.00	6,711.00	6,447.00	
		8,174.00	7,853.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市が、公共用水域の水質保全の観点から、浄化槽補助対象地域に対		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	浄化槽の普及促進及び適正な維持管理につながっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	浄化槽の整備促進が図られ、効果的な維持管理につながっている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	浄化槽設置の普及促進及び維持管理が適正に行われることにより、		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	今後も、浄化槽の設置促進を図るため、設置費補助金の交付及び維持管理補助金の交付により浄化槽の維持管理に努め、浄化槽の維持管理の啓発活動を通じて、公共用水域の水質汚濁防止を図っていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、浄化槽の普及促進及び適正な維持管理に努め、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止に努めて行く。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0247  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1703  
 事務事業番号 01153

進捗区分 評価完了  
 環境部廃棄物減量推進課  
 3 R推進事業

所属長名 小高 弥須夫  
 記入者 白井 智浩

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	
施策	032	循環型社会形成の推進	
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進	
事務事業	001	3 R推進事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象

根拠法令等	循環型社会形成推進基本法 廃棄物処理法 大津市補助金等交付規則等		
事業概要	(事業概要) 市民会議である「ごみ減量と資源再利用推進会議」と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸における体験教室、啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等の購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより、3 R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進する。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3 Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。また、プラスチック資源循環法の施行により、プラスチックごみ対策の動向を注視していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 令和2年度に、増加した家庭系ごみ量が、令和3年度には減少傾向に変わり、新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着きを見せてきている。2年続いて中止となったリサイクルフェアも、令和4年度は、状況を見ながら実施する予定である。各種啓発についても、状況に応じて適切な手段で取り組み、ごみ減量を推進して行く。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして
目的(何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから3 Rを推進する循環型社会への転換を図るため
手段(どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより
成果(どのような状態にするのか)	市内における3 R（ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用）を推進する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	187,543	190,127	142,688	143,611	141,731	141,731	151,731
事業費	138,385	134,954	97,180	98,103	96,223	96,223	106,223
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	3,956	80	86	86	86	86	86
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	33,996	46,273	38,231	37,978	37,978	37,978	37,978
一般財源	100,433	88,601	58,863	60,039	58,159	58,159	68,159
人件費計	49,158	55,173	45,508	45,508	45,508	45,508	45,508
事務・技術(人)	3.70	4.30	3.15	3.15	3.15	3.15	3.15
技能労務(人)	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	3.98	4.83	4.68	4.68	4.68	4.68	4.68
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート (2/2)

整理番号 0247  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課  
 事務事業番号 01153 3 R 推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-10-36-00-01-00	3 R 推進事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 集団資源回収団体数	団体	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00
		644.00	615.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 生ごみ処理機等補助金申請件数	件	0.00	0.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 生ごみ排出量 (燃やせるごみ)	t	0.00	0.00	59,772.00	59,634.00	59,233.00	58,977.00	58,585.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) リサイクルフェア来場者数 (延べ人数)	人	1,360.00	1,360.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ごみ減会議等と協働して進めている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	対前年比で全体のごみ量が減少している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	ごみ減会議等と連携して進めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	各種の啓発が、ごみの減量等に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	家庭系ごみ量が増加していたが、令和3年度実績では減少に転じた。ただし、当初の目標値を達成していないため、引続きごみ減量を啓発していく必要がある。プラスチックごみに関しては、現行の分別収集方法を継続することとなったが、プラスチック資源循環促進法施行後の国、他の自治体、事業者の動向を注視し、検討を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業における様々な取り組みを基礎として、新たな一般廃棄物処理基本計画が令和4年度より開始することとなる。今後は、さらなる減量効果を意識した紙ごみの定期収集や古紙の集団資源回収の最適化とともに、北部地域の生ごみ堆肥化の後継事業を検討し、再資源化を進展させる必要がある。加えて、プラスチック資源循環促進法の施行など、社会環境の変化を踏まえ有効な対策について検討を行うものとする。また、各取組みの推進にあたり、重要な市民理解を促すために市民団体などとの緊密な連携に努める。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0248  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課  
 事務事業番号 01154 廃棄物適正処理事業

所属長名 小高 弥須夫  
 記入者 中村 泰彰

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
施策	032	循環型社会形成の推進		
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進		
事務事業	002	廃棄物適正処理事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・条例規則			

事業概要	<p>(事業概要)                  家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と市内の事業所から排出される一般廃棄物の適正な処理を行う。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)                  コロナウイルス感染症の影響に伴う新生活様式の定着により、昨年度は家庭ごみ量が増加したものの、今年度は昨年度に比べ減少した。また、全体総量についても減少した。                  (見直しや改善等の経過)                  これまでから、ごみの収集分別の見直しや適正処理困難物の処理体制の整備などを行ってきた。また、令和4年4月からはビンごみの一括回収を開始した。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ごみステーションに排出された家庭ごみや不法投棄された家庭ごみ及び事業系ごみを
目的(何のために)	家庭ごみの確実な収集と不法投棄された廃タイヤ等の適正処理により生活環境を保全することや事業系ごみの適正な排出のために
手段(どのようなやり方で)	民間業者への委託や直営により適正に収集運搬及び処理し、不法投棄物については、排出者及び収集運搬許可業者等への指導等により
成果(どのような状態にするのか)	効率的で確実な収集体制の確保と家庭ごみ及び事業系ごみが不法投棄されず適正に排出される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,274,440	1,315,773	1,328,570	1,377,801	1,378,801	1,379,801	1,380,801
事業費	1,225,394	1,265,014	1,275,613	1,324,844	1,325,844	1,326,844	1,327,844
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	95,185	109,398	63,812	63,672	63,812	63,672	63,812
一般財源	1,130,209	1,155,616	1,211,801	1,261,172	1,262,032	1,263,172	1,264,032
人件費計	49,046	50,759	52,957	52,957	52,957	52,957	52,957
事務・技術(人)	5.01	5.05	6.05	6.05	6.05	6.05	6.05
技能労務(人)	0.60	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.92	1.69	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0248  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課  
 事務事業番号 01154 廃棄物適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-02-00	廃棄物適正処理事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 定期収集日数	日	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00
		310.00	310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 展開調査	回	3.00	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 取り漏れ等の苦情件数	件数	90.00	90.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		52.00	24.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業系ごみ量（臨時収集除く）	t	25,180.00	25,030.00	22,119.00	21,631.00	21,061.00	20,513.00	20,002.00
		22,242.00	22,415.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引続き、市の責務である一般廃棄物の処理を適正かつ効率的に実施するため、適正処理困難物の処理の継続を含め、法に規定する処理及び委託に関する基準に則した処理及び委託を実施する。なお、令和4年度からびんの分別方法を変更したところであるが、一般廃棄物処理基本計画に記載する収集日数の見直しなど、今後もより良いごみの収集体制の構築を目指し、改善検討を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	家庭系ごみの定期収集を巡る課題件数は、低く抑えられている一方で、処理施設で行う展開調査については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を期すため実施を見送ったところである。この間も事業系ごみ量は目標値を下回ってきたことを踏まえ令和4年度からの目標値は一般廃棄物処理基本計画との整合のために見直しを行うこととする。 市としては廃棄物の減量及び再資源化の促進及び生活環境の保全のため、効率的な業務活動を期し、収集体制の改善や排出事業者への指導を継続していく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

745 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0249  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1710 環境部産業廃棄物対策課  
 事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

所属長名 名島 靖磨  
 記入者 高谷 俊司

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
施策	032	循環型社会形成の推進		
取組の方向性	003	不法投棄防止の推進		
事務事業	001	廃棄物不適正処理対策事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
事業概要	(事業概要) 職員及び不法投棄等監視員（地域住民に委嘱）による閉庁日の監視パトロール、民間業者による閉庁日の監視パトロールにより、不法投棄の未然防止及び早期発見を図るとともに、不法投棄行為者等に対し不法投棄物の除去等の是正指導を行い、原状回復に努める。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 大規模な不法投棄事案の発生は近年報告されていない。しかし解体された建築廃材や産業廃棄物が山林等に不法投棄されている事案が依然見られる。また一般廃棄物が山林や道路等に不法投棄される事案が多発している。 (見直しや改善等の経過) 職員の増員や監視カメラの増設、ドローンの導入、不法投棄等監視員の増員、民間業者による閉庁日の監視パトロールにより、不法投棄の早期発見・早期対応を行った。			

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	不法投棄廃棄物及びその行為者を対象に
目的(何のために)	廃棄物の不法投棄の早期発見・早期対応を行うため
手段(どのようなやり方で)	職員及び不法投棄等監視員、民間業者による監視パトロールを行うとともに、不法投棄行為者等に対する不法投棄物の除去等の指導を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全が図られる。

## 【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	58,181	76,138	87,899	88,426	88,561	88,876	89,216
事業費	6,543	7,608	8,169	8,696	8,831	9,146	9,486
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	104	24	24	24	24	24	24
一般財源	4,589	5,734	6,295	6,822	6,957	7,272	7,612
人件費計	51,638	68,530	79,730	79,730	79,730	79,730	79,730
事務・技術(人)	2.28	3.80	5.20	5.20	5.20	5.20	5.20
技能労務(人)	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
再任用(人)	0.50	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
会計年度任用(人)	3.32	4.30	4.30	4.30	4.30	4.30	4.30
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0249  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1710 環境部産業廃棄物対策課  
 事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-07-05-00-10-00	廃棄物不適正処理対策事業費	環境部不法投棄対策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)職員によるパトロール実施日数	日	0.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00
		0.00	241.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)不法投棄に係る市民要望の解決率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		90.00	89.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)現場確認箇所数 1出動あたり	箇所	15.00	15.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		22.00	16.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、職員及び不法投棄等監視員、民間業者による監視パトロールの実施や監視カメラの設置による監視を行うとともに、ドローンによる現状確認を行い、不法投棄並びに土砂不適正処理事案の早期発見・早期対応に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	担当職員によるパトロール体制と巡回頻度の確保は概ね目標値を満足させることができ、市民からの通報案件に対する解決率も目標値を満たすこととなった。引き続き、不法投棄並びに土砂不適正処理事案の早期発見、早期解決を目指し、事案に適した有効な対策を講じていく。 また、関係を有する法令の改正に適応させるために土砂埋立て行為に対する規制のあり方については遺漏ないよう見直し対応を行うものとする。		



# 事務事業評価シート（1/2）

748 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0250  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1707  
 事務事業番号 01148

進捗区分 評価完了  
 所属長名 梅野 博英  
 記入者 上松 一智

環境部施設整備課  
 環境交流館管理運営事業

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	032	環境交流館管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市伊香立環境交流館条例					
事業概要	(事業概要) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした施設の管理運営を行う。なお、平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民の意識の高揚を図るとともに、地域のコミュニティの活性化を図る場が求められている。この施設は、令和7年度をもって、新たな市民センターの改築に合わせて集約化されることとなった。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象として
目的(何のために)	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,331	9,258	9,970	10,753	10,634	10,674	0
事業費	1,665	1,708	2,660	3,363	3,244	3,284	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	1	1	1	1	1	0
一般財源	1,663	1,707	2,659	3,362	3,243	3,283	0
人件費計	7,666	7,550	7,310	7,390	7,390	7,390	0
事務・技術(人)	0.13	0.13	0.10	0.11	0.11	0.11	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.15	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0250  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1707 環境部施設整備課  
 事務事業番号 01148 環境交流館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-30-00-01-00	環境交流館管理運営事業費	環境部施設整備課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)開設日数	日	296.00	296.00	299.00	298.00	297.00	300.00	0.00
		282.00	281.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	0.00
		8,156.00	9,260.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進を図れている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	地域に認識され利用者数は目標値を大きく超えている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	効率的な施設管理及び修繕に努めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図る。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	廃棄物減量化と循環型社会の啓発及び地域コミュニティの場として活発な利用が図られるよう、引き続き館内でのポスター掲示やHPの掲載等による周知を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	循環型社会の形成に係る市民意識の高揚と地域のまちづくりに貢献できる施設として、より多くの市民に利用してもらえるよう、適切な運営に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

751 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0251  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1707  
 事務事業番号 01164

進捗区分 評価完了  
 環境部施設整備課  
 地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）

所属長名 梅野 博英  
 記入者 上松 一智

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	011	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法					
事業概要	(事業概要) 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部クリーンセンターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	伊香立学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	北部クリーンセンターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部クリーンセンターの円滑な運営を確保する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	65,877	63,481	68,342	65,030	56,853	68,358	55,128
事業費	35,005	34,347	44,648	39,976	31,799	43,304	29,194
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	35,005	34,347	44,648	39,976	31,799	43,304	29,194
人件費計	30,872	29,134	23,694	25,054	25,054	25,054	25,934
事務・技術(人)	3.75	3.59	2.91	3.08	3.08	3.08	3.19
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0251  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1707 環境部施設整備課  
 事務事業番号 01164 地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-01-00	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 事業補助数	件	40.00	40.00	31.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		47.00	41.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.07	1.26	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0252  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1707  
 事務事業番号 01165

進捗区分 評価完了  
 環境部施設整備課  
 地区環境整備事業費（環境美化センター）

所属長名 梅野 博英  
 記入者 池西 好史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
施策	032	循環型社会形成の推進		
取組の方向性	002	適正処理の推進		
事務事業	012	地区環境整備事業費（環境美化センター）		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法			
事業概要	(事業概要) 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、環境美化センターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	富士見学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	環境美化センターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、環境美化センターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	32,379	38,042	44,674	43,274	45,274	53,274	43,274
事業費	24,549	30,828	33,220	31,820	33,820	41,820	31,820
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	24,549	30,828	33,220	31,820	33,820	41,820	31,820
人件費計	7,830	7,214	11,454	11,454	11,454	11,454	11,454
事務・技術(人)	0.94	0.85	1.38	1.38	1.38	1.38	1.38
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0252  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1707 環境部施設整備課  
 事務事業番号 01165 地区環境整備事業費（環境美化センター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-04-00	地区環境整備事業費（環境美化センター）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 事業補助数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 事業効率化指数	-	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		0.78	1.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0253  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1707  
 事務事業番号 01166

進捗区分 評価完了  
 環境部施設整備課  
 地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）

所属長名 梅野 博英  
 記入者 上松 一智

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります	
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし	
施策	032	循環型社会形成の推進	
取組の方向性	002	適正処理の推進	
事務事業	013	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法		

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>
------	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>
----------------------	---

【事業分析】

対象(何又は誰を)	龍華自治会を対象として
目的(何のために)	北部廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,400	16,103	12,059	7,825	7,805	7,805	7,805
事業費	12,998	12,649	9,965	5,651	5,631	5,631	5,631
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	1	1	1	1
一般財源	12,998	12,648	9,964	5,650	5,630	5,630	5,630
人件費計	3,402	3,454	2,094	2,174	2,174	2,174	2,174
事務・技術(人)	0.40	0.38	0.21	0.22	0.22	0.22	0.22
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0253  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1707 環境部施設整備課  
 事務事業番号 01166 地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-01-00	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 事業補助数	件	2.00	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.20	0.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解が得られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

760 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0254  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1707  
 事務事業番号 01169

進捗区分 評価完了  
 環境部施設整備課  
 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

所属長名 梅野 博英  
 記入者 池西 好史

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	015	地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法					
事業概要	(事業概要) 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、大田廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。					

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	大石学区自治連合会、曾東町自治会、小田原町自治会を対象として
目的(何のために)	大田廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、大田廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	53,776	30,138	39,746	41,654	43,974	61,293	38,654
事業費	35,614	13,964	15,172	17,080	19,400	36,719	14,080
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	35,614	13,964	15,172	17,080	19,400	36,719	14,080
人件費計	18,162	16,174	24,574	24,574	24,574	24,574	24,574
事務・技術(人)	2.20	1.97	3.02	3.02	3.02	3.02	3.02
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0254  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1707 環境部施設整備課  
 事務事業番号 01169 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-09-00	地区環境整備事業費（大田廃棄物最終処分場）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 事業補助数	件	16.00	14.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
		14.00	6.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.88	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持、向上を図るとともに、地元の理解を得ることにより市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0255  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1707  
 事務事業番号 01170

進捗区分 評価完了  
 環境部施設整備課  
 地区環境整備事業（衛生プラント）

所属長名 梅野 博英  
 記入者 池西 好史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	016	地区環境整備事業（衛生プラント）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	(事業概要) 大津市南部で排出されるし尿を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、南部衛生プラントの操業を行っている。施設が立地する地域では、し尿収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	田上学区自治連合会、堂町自治会、白百合自治会の市民を対象として
目的(何のために)	南部衛生プラントの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、南部衛生プラントの円滑な運営を確保する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,271	17,724	2,714	2,794	2,794	2,794	2,794
事業費	8,441	10,510	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,441	10,510	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費計	7,830	7,214	1,214	1,294	1,294	1,294	1,294
事務・技術(人)	0.94	0.85	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0255  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1707 環境部施設整備課  
 事務事業番号 01170 地区環境整備事業（衛生プラント）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-07-00	地区環境整備事業費（衛生プラント）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 事業補助数	件	11.00	6.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		11.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
		1.02	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	し尿処理施設の再編に伴い、南部衛生プラントについては令和3年度末をもって操業が終了し、今後は当該施設の跡地利用について地元と協議を進めていく。 また、志賀衛生プラントへの搬入量の増加に伴い、小松学区自治連合会と覚書を交換し、地区環境整備事業を開始することとしている。（覚書有効期間：10年間）		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	施設機能の集約化を目的に、令和3年度末をもって操業を終えた南部衛生プラントについては、今後、有用な跡地利用を検討し、地域との協議を進める一方で、令和4年度から行う志賀衛生プラントの操業に伴う小松学区に対する振興補助については、覚書に従い適正に執行する。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0256  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1707  
 事務事業番号 02229  
 進捗区分 評価完了  
 環境部施設整備課  
 地区環境整備事業（大津クリーンセンター）

所属長名 梅野 博英  
 記入者 池西 好史

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
施策	032	循環型社会形成の推進		
取組の方向性	002	適正処理の推進		
事務事業	026	地区環境整備事業（大津クリーンセンター）		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法			
事業概要	(事業概要) 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、大津クリーンセンターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大石学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	大津クリーンセンターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、大津クリーンセンターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	33,134	10,460	0	0	0	0	0
事業費	30,470	7,806	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	30,470	7,806	0	0	0	0	0
人件費計	2,664	2,654	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.31	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0256  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1707 環境部施設整備課  
 事務事業番号 02229 地区環境整備事業（大津クリーンセンター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-05-00	地区環境整備事業費（大津クリーンセンター）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動) 事業補助数	件	3.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	-	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.68	1.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	未完了事業を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
所属コメント (400文字)	ごみ処理施設の操業が令和元年度末で終了し、未完了事業についても地元と協議を進め、令和3年度をもって実施が終了した。今後は跡地の利活用について地元と協議していく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業の抜本的見直しや廃止が必要	事業の方向性	縮小
部局コメント (400文字)	関連する事業については、令和3年度を持って全て終了した。今後は、環境美化センターが所管する施設用地について、有用な利活用が図られるよう他部局とも連携し、地域とも協議を続けていく。		





# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0257  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了 所属長名 原田 浩二  
 所属 1702 環境部環境美化センター 記入者 清水 一義  
 事務事業番号 01175 じん芥焼却場管理事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	017	じん芥焼却場管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法				
事業概要	<p>(事業概要)                  民間事業者（SPC）による大津市環境美化センター焼却施設・リサイクル施設の運営について履行状況を確認するため、定期及び随時モニタリングを実施し、大津市南部地域から発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化を図るための適正な施設管理を行う。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)                  ごみ処理事業は市民生活と直結しているため、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。                  (見直しや改善等の経過)                  DBO方式で整備を進めているごみ処理施設は、民間事業者による管理運営として令和2年度よりリサイクル施設、令和3年度より焼却施設が稼働したことから、大幅な費用の縮減が図れた。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ、大型ごみほか及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみ、大型ごみ
目的(何のために)	大津市環境美化センターに搬入されるごみの適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設及びリサイクル施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、大津市南部区域から発生する一般廃棄物の適正な処理を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	681,217	414,004	377,806	365,020	373,207	374,212	375,209
事業費	648,144	394,804	355,796	342,850	351,037	352,042	353,039
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	254,909	267,981	271,396	280,027	280,027	280,027	280,027
一般財源	393,235	126,823	84,400	62,823	71,010	72,015	73,012
人件費計	33,073	19,200	22,010	22,170	22,170	22,170	22,170
事務・技術(人)	1.85	2.40	2.48	2.50	2.50	2.50	2.50
技能労務(人)	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.76	0.00	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0257  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1702 環境部環境美化センター  
 事務事業番号 01175 じん芥焼却場管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-01-00	じん芥焼却場管理事業費	環境部環境美化センター
01-20-10-20-71-00-01-00	じん芥焼却場管理事業費	環境部施設管理室

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動) 月次モニタリング会議実施回数	回	0.00	0.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
(活動) 焼却施設実稼働率	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
(成果) ごみ発電による電力使用率	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
(成果) 資源ごみの処分量	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	環境美化センターは、市民生活の維持に必要な不可欠なインフラであり、安全かつ安定した操業を図る。また、ごみの資源化を図るとともに環境への負荷を軽減し、クリーンで快適な生活環境を保持するため、安全で安定したごみ処理施設の維持管理及び民間事業者による適切な管理運営とそのモニタリングの実施に努め、適正な廃棄物処理を実施していく。なお、令和2年度末をもって操業終了した旧焼却施設に代わり、令和3年度より新焼却施設稼働に伴い、令和2年度決算額と令和3年度決算額を比較すると大幅な縮減が図れた。なお、令和4年度以降の予算額並びに計画額は、消費者物価指数などを考慮し決定していくものである。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	環境美化センター焼却施設並びにリサイクル施設の稼働については、本施設の良好な状態を保ち、安心、快適な生活環境の保持並びに廃棄物の適正な処理を確保するべく、民間事業者による管理運営に対するモニタリングを実施していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0258  
 評価年度 令和 3年度  
 所属 1702  
 事務事業番号 01176

進捗区分 評価完了  
 環境部環境美化センター  
 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

所属長名 原田 浩二  
 記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	018	不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 南部不燃物処分地は昭和57年7月から昭和62年6月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年6月から平成6年7月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理に努めており、両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の維持管理基準は満たし安定している。また、引き続き処分地の廃止に向け、水質や発生ガスの調査を行い適切な維持管理を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 埋立処分は終了し、廃止に向けて適切に維持管理を行う必要がある。 (見直しや改善等の経過) 浸出水処理施設の適宜整備補修を行い維持管理に努め浸出水を安全に処理してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	南部・第二南部不燃物浸出水処理施設について
目的(何のために)	不燃物処分地からの浸出水(汚水)を適正に処理するため
手段(どのようなやり方で)	浸出水処理施設の設備機器の点検、及び整備を計画的に実施し
成果(どのような状態にするのか)	施設の安定運転操業を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,383	18,726	21,711	22,938	22,938	22,938	22,938
事業費	10,414	8,975	14,791	16,018	16,018	16,018	16,018
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,414	8,975	14,791	16,018	16,018	16,018	16,018
人件費計	10,969	9,751	6,920	6,920	6,920	6,920	6,920
事務・技術(人)	0.72	0.75	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
再任用(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
会計年度任用(人)	1.65	1.21	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0258  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1702 環境部環境美化センター  
 事務事業番号 01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-04-00	南部不燃物処分地管理費	環境部環境美化センター
01-20-10-25-76-00-04-00	南部不燃物処分地管理費	環境部施設管理室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)水質検査回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)発生ガス検査回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)水質基準値遵守率(COD・南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)水質基準値遵守率(COD・第二南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準				評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である			A
		B	ほぼ妥当である			
		C	あまり妥当ではない			
		D	妥当ではない			
		評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている			A
		B	やや上がっている			
		C	あまり上がっていない			
		D	上がっていない			
		評価理由	放流水（処理水）の排出基準を満足している。			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である			A
		B	やや効率的である			
		C	あまり効率的でない			
		D	効率的でない			
		評価理由	施設の運転管理は安定した操業ができた。			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している			A
		B	やや貢献している			
		C	あまり貢献していない			
		D	貢献していない			
		評価理由	効率的に安定処理の向上が図れている。			
評価理由						

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	放流水及び浸出水（原水）の水質については廃止基準に収まっているものの、未だに埋立地からのガス発生量が廃止基準に収まっていないため、引き続き監視するとともに、適正な維持管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	これからも南部不燃物処分地の埋立地のガス発生状況を注視しながら、廃止基準に適合するまで適正な維持管理に努める。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0259  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1702 環境部環境美化センター  
 事務事業番号 01177 大田廃棄物最終処分場管理事業

所属長名 原田 浩二  
 記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	019	大田廃棄物最終処分場管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 環境美化センターからの焼却灰、リサイクル施設からの破碎不燃物などを適正かつ円滑に埋立処分を行い、また埋立地から発生する浸出水を適正に処理する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 埋立搬入物や浸出水並びに処理水の水質など法律で定める基準はもとより、地元との協定を遵守し適正処理を行っている。また、定期的に地元に対して結果の報告を行っている。 (見直しや改善等の経過) 平成27年7月より、浸出水の処理は第2期水処理施設を主にした運転に切り替えることで費用の縮減を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物及び持ち込みの燃やせないごみを受け入れ、埋立処分場から発生する浸出水の処理等を
目的(何のために)	焼却灰等不燃性一般廃棄物を適正に最終処分し、良好な水環境を保つため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、埋立処分及び浸出水処理施設の適切な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	①衛生的で安全な埋立処分②放流水（処理水）の水質基準値の遵守を図る

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	62,834	63,446	93,914	93,247	93,947	96,322	96,322
事業費	50,490	52,436	75,294	74,627	75,327	77,702	77,702
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	259	143	158	290	290	290	290
一般財源	50,231	52,293	75,136	74,337	75,037	77,412	77,412
人件費計	12,344	11,010	18,620	18,620	18,620	18,620	18,620
事務・技術(人)	0.97	0.95	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
再任用(人)	0.00	0.00	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
会計年度任用(人)	1.43	1.10	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0259  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1702 環境部環境美化センター  
 事務事業番号 01177 大田廃棄物最終処分場管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-06-00	大田廃棄物最終処分場管理費	環境部環境美化センター
01-20-10-25-76-00-06-00	大田廃棄物最終処分場管理費	環境部施設管理室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
(成果)水質基準値遵守率(COD)	%	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	第1期、第2期埋立地について、引き続き維持管理基準に基づき埋立処分を行う。また、汚水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、適正な埋立処分を継続するとともに、安定した汚水処理を図る。		





# 事務事業評価シート（1/2）

778 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0260  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1702 環境部環境美化センター  
 事務事業番号 02217 中町淀町最終処分場管理運営事業

所属長名 原田 浩二  
 記入者 浜崎 亨

## 【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	025	中町淀町最終処分場管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。 また、環境保全協定書に基づき最終処分場及び周辺的环境美化に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 中町埋立処分場は平成10年度末、淀町最終処分場は平成25年度末をもって埋立処分が終了し、現在、各施設において浸出水の適正処理を行っている。また、大石淀町廃棄物最終処分場は表層利用としてグラウンドゴルフ場造成工事が進められている。 (見直しや改善等の経過) 中町埋立処分場については、埋立終了後、年月が経過しており、処理施設に流入する浸出水の水質が改善され良好な状態となっていることから、平成28年度より簡易処理に移行している。				

## 【事業分析】

対象(何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
目的(何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	放流水（処理水）の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺的环境美化に努める

## 【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	52,458	51,291	61,757	65,145	65,954	65,954	61,074
事業費	49,878	46,268	56,839	60,227	61,036	61,036	56,156
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	49,878	46,268	56,839	60,227	61,036	61,036	56,156
人件費計	2,580	5,023	4,918	4,918	4,918	4,918	4,918
事務・技術(人)	0.15	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用(人)	0.44	0.33	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0260  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1702 環境部環境美化センター  
 事務事業番号 02217 中町淀町最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-11-00	中町淀町最終処分場管理運営事業費	環境部大津クリーンセンター
01-20-10-25-76-00-11-00	中町淀町最終処分場管理運営事業費	環境部施設管理室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)COD、窒素等の水質基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理は市町村の責務である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	処理水の水質が環境保全協定値を満足している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	運転管理業務を民間委託することにより効率的に操業できた。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	安定した水処理施設の運転により周辺の環境美化に貢献できた。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	中町汚水処理施設については浸出水の水質が改善していることから簡易処理に移行し、引き続き、適正な運転管理に努めるとともに廃止に向けた協議を地元と進めていく。淀町最終処分場は、平成25年度末をもって埋立終了したが、引続き浸出水について汚水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	中町埋立処分場については、環境保全協定値を遵守するため適正な維持管理に努めるとともに、埋立事業終了から20年以上が経過し浸出水の水質も改善していることから、廃止を見据えた取組を実施していく。また、淀町最終処分場についても、環境保全協定値を遵守するため、引き続き適正な維持管理に努める。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0261  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター  
 事務事業番号 01180 北部クリーンセンター管理運営事業

所属長名 新野 道郎  
 記入者 新開 一広

【基本情報】

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
施策	032 循環型社会形成の推進		
取組の方向性	002 適正処理の推進		
事務事業	021 北部クリーンセンター管理運営事業		
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象外
根拠法令等	廃掃法、容り法、ダイオキシン類特措法		
事業概要	(事業概要) 琵琶湖疏水以北で発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、かん、びん、ペットボトル及び大型ごみ、大津市全域で発生するプラスチック製容器包装の円滑な処理及び資源化を図るための適正な施設管理を行う。		
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境)ごみ処理事業は市民生活と直結しており、市民の関心も高くごみ減量、分別、リサイクルに対する市民意識の向上に伴い適正処理の取組みがなされている。また、ごみ処理施設の稼働についても一層の安全稼働が求められている。 (見直しや改善等の経過) 既存の焼却施設及び粗大ごみ処理施設については令和3年度末までの稼働であることから、補修工事、点検整備を最小限に抑えてきた。令和4年度から新北部クリーンセンター（焼却施設、リサイクル施設）は、SPCによる運営管理となり、プラスチック容器資源化施設については、引き続き大津市による管理運営を行っていく。		

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみを
目的(何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑に処理及び資源化するため
手段(どのようなやり方で)	①焼却施設、粗大ごみ処理施設、プラスチック容器資源化施設の適正な運転によるごみ処理で、②排ガス等の規制基準を遵守し、
成果(どのような状態にするのか)	①安定した運転・操業を実施すること及び資源化できるものは適正な処理を実施し、②環境汚染物質の低減を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	718,926	682,869	449,686	470,957	472,675	472,662	473,871
事業費	669,626	633,869	435,686	456,957	458,675	458,662	459,871
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	159,145	164,062	160,707	160,707	160,707	160,707	160,707
一般財源	510,481	469,807	274,979	296,250	297,968	297,955	299,164
人件費計	49,300	49,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
事務・技術(人)	2.10	2.10	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75
技能労務(人)	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0261  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター  
 事務事業番号 01180 北部クリーンセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-02-00	北部クリーンセンター管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター
01-20-10-20-71-00-02-00	北部クリーンセンター管理運営事業費	環境部施設管理室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)ごみ焼却量	トン	41,370.00	41,370.00	39,387.00	39,387.00	39,387.00	39,387.00	39,387.00
		39,316.00	35,530.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)資源ごみの搬入量	トン	2,862.00	2,862.00	3,257.87	3,240.00	3,230.04	3,220.07	3,218.91
		2,961.00	2,946.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)資源ごみの処理率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度から新しい運営方式による新施設稼働となり、モニタリングという手法を用いて運営状況を監視する立場へと変わり、事業継続していく。引き続き、法令と地元との協定を順守し、ごみの適正かつ安定した処理を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	適正な保守点検等を実施し、より安全かつ安定した施設操業とごみ処理施設の適正な管理運営を維持できた。令和4年度から操業を開始する新北部クリーンセンター(焼却施設、リサイクル施設)の運営主体がSPCに移行することとなるが、本市としては適正に業務が行われているか評価し、管理していくほか、その他プラスチック容器包装廃棄物の再資源化施設の適正な運営を継続する。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0262  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター  
 事務事業番号 01181 一般廃棄物最終処分場管理運営事業

所属長名 新野 道郎  
 記入者 川村 与志治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	022	一般廃棄物最終処分場管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法					
事業概要	(事業概要) 北部クリーンセンターから排出される焼却灰、破碎不燃物及び琵琶湖疏水以北から排出される持ち込みの燃やせないごみの適正かつ円滑な埋立処分を行う。また、処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理するための適正な施設管理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 今日までの「ごみ減量施策」の実施によりごみ量が減少してきたが、近年では下げ止まり傾向で年度ごとの搬入量には差異がある。 (見直しや改善等の経過) 令和元年からの土堰堤築造工事について、高さを変更（2.5m→1.25m）し、ごみの埋立枠を増加させ、延命できるよう見直し、少ない経費で最大限の効力を発揮できるよう改善した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物（破碎処理残渣）及び持ち込みの燃やせないごみを
目的(何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
手段(どのようなやり方で)	①最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、②水質等の規制基準を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	①清潔で安全な埋立処分を実施し、②放流水（処理水）の水質基準値を遵守する

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	64,494	61,687	64,363	63,723	61,881	61,831	61,831
事業費	41,548	39,047	41,723	41,723	39,881	39,831	39,831
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	335	281	317	317	317	317	317
一般財源	41,213	38,766	41,406	41,406	39,564	39,514	39,514
人件費計	22,946	22,640	22,640	22,000	22,000	22,000	22,000
事務・技術(人)	1.33	1.33	1.33	1.25	1.25	1.25	1.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0



# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0262  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター  
 事務事業番号 01181 一般廃棄物最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-07-00	北部廃棄物最終処分場管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター
01-20-10-25-76-00-07-00	北部廃棄物最終処分場管理運営事業費	環境部施設管理室

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(成果)水質検査結果の下水道排除基準遵守率	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)焼却灰、破碎不燃物等の埋立量	—	5,400.00	5,400.00	5,400.00	5,400.00	5,400.00	5,400.00	5,400.00	
		5,395.00	4,071.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)水質検査実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	最終処分場への埋立処分を適切に行うとともに、老朽化した汚水処理施設の適正管理を踏まえて管理運営を維持していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き適正な埋立処分を継続するとともに、浸出水処理施設の適正かつ効果的な運用により、安定した汚水処理を推進していく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0263  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター  
 事務事業番号 02622 美化清掃事業（廃棄物減量推進課）

所属長名 新野 道郎  
 記入者 堀井 平継

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	027	美化清掃事業（廃棄物減量推進課）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例				
事業概要	(事業概要) 自治会や各種団体等による美化活動に伴うごみの収集、小・中学校、支所等に設置されている使用済廃乾電池回収箱からの乾電池収集、犬・猫等動物死体の収集業務（委託）、刈草剪定枝の堆肥化により生じた堆肥の市内3か所の配布場所への運搬等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 自治会等による美化活動の実施や道路上の動物死体の迅速な通報など、市民の環境保全に対する意識の高まりがある。 (見直しや改善等の経過) 職員自らが主体的に担ってきたごみ収集業務について外部委託化を進めてきた一方で、地域の美化活動のほか、地域におけるごみをめぐる課題についてきめ細かく対応するため、人員と車両の配置を行い、直営での収集が可能な体制を整えてきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、また、動物の死体を
目的(何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
手段(どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者（動物死体に限る。）が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	34,922	36,862	49,787	49,787	49,787	49,787	49,787
事業費	11,670	12,854	15,452	15,452	15,452	15,452	15,452
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	782	735	844	844	844	844	844
一般財源	10,888	12,119	14,608	14,608	14,608	14,608	14,608
人件費計	23,252	24,008	34,335	34,335	34,335	34,335	34,335
事務・技術(人)	0.10	0.10	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17
技能労務(人)	2.40	2.40	3.75	3.75	3.75	3.75	3.75
再任用(人)	0.80	0.80	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06
会計年度任用(人)	0.61	0.88	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0263  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター  
 事務事業番号 02622 美化清掃事業（廃棄物減量推進課）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-05-00	美化清掃事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
(活動)美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		184.00	165.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)動物死体の収集数	体	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		986.00	999.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)収集応需率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物処理法を順守し市が主体となって事業を実施している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	速やかな収集対応により、地域の環境保全に貢献している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	業務内容により民間委託と直営を使い分けている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	環境保全及び市民サービスの観点から、本事業の持つ意義は大きい		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生活環境の美化や公衆衛生の保全のため、創意工夫しながら事業に取り組んできたところである。市民からの美化活動に伴うごみ直営収集、動物死体の収集依頼等要望を受けた当日対応を基本としてきたこともあり、結果として指標に定める目標値(収集量・数)に対する実績値は下回っているものの、100%の対応はできている。4年度はこれらに臨機応変かつより迅速に収集対応できるよう、機構改革を行って環境整備員の配置替えを行うことにより、市民サービスの更なる向上を図り当該事業を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、引き続き、きめ細やかで迅速な収集対応により、市民サービスの充実に努め、事業のより円滑な推進を図っていく。		



# 事務事業評価シート（1/2）

790 頁  
令和 4年 9月15日

整理番号 0264  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了 所属長名 佐藤良一  
 所属 1711 環境部衛生プラント 記入者 平野晋也  
 事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	005	衛生処理場運転管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	下水道の普及に伴い、し尿等の搬入量が減少していることから、令和3年度に南部衛生プラントの操業を停止し、適正規模に見合った処理施設の再編を行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
目的(何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
手段(どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われている衛生プラント（し尿処理施設）で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	284,371	288,227	300,790	245,414	242,683	257,380	256,577
事業費	259,104	264,333	279,420	224,044	221,313	236,010	235,207
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	259,104	264,333	279,420	224,044	221,313	236,010	235,207
人件費計	25,267	23,894	21,370	21,370	21,370	21,370	21,370
事務・技術(人)	2.40	2.39	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.82	1.54	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

# 事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0264  
 評価年度 令和 3年度 進捗区分 評価完了  
 所属 1711 環境部衛生プラント  
 事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-04-00	衛生処理場運転管理事業費	環境部衛生プラント
01-20-10-30-46-00-04-00	衛生処理場運転管理事業費	環境部施設管理室

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
(活動)し尿・浄化槽汚泥搬入量（1日当り）	k l / 日	30.60	29.70	30.30	28.87	27.47	26.10	24.75	
		34.80	34.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(活動)汚泥焼却灰処分量	t / 年	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
		6.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)放流水の水質（BOD） （管理目標値以下の達）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)放流水の水質（T-N） （管理目標値以下の達）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市町村の責務であるため。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	環境負荷の低減に寄与した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	南部衛生プラントの操業を停止し、再編を行った。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持に貢献した。		
評価理由			

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	適切な維持管理に努め、環境負荷の低減と公衆衛生の確保を図る。また、下水道の普及に伴い、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量が年々減少し、現有処理能力が過剰となっていたことから、施設の再編を行い、令和3年度末で3施設のうち南部衛生プラントの操業を停止、他2施設へ統合し、効率性の向上を図った。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	令和3年度末を以て市内3施設体制から2施設体制への見直しを行い、施設の適正化を講じている。引き続き、適正な維持管理と搬入調整に努め、安全で、効率的な管理運営に努める。		

